

一括輸出契約としては、世界的にみても最大のものと思われる。出荷は本年11月から来年2月までである。

なお、今回の高談には、テレフンケン(西ドイツ)、フィリップス(オランダ)など世界17社が参加したが、結局、性能面の優秀性を認められて日立製作所の製品が選ばれたものである。

オートチューニングラジオ

オートエイト TH-800 発売

日立製作所では、ポータブルラジオでは最初の自動選局ラジオとして国内、海外ともに好評だったオートナインTH-900の姉妹機種としての8石1バンドスーパーヘテロダイナラジオ“オートエイトTH-800”を発売した。

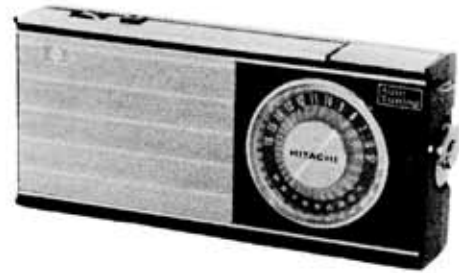
このラジオは、さきに発売したTH-900と動作原理は同じであるが、要所、要所に改良を加え、さらに使いやすくした高性能のオートチューニングラジオである。

現金正価 8,500円

月賦正価 8,800円(6ヶ月払い)(皮ケース、イヤホン付)

おもな特長

- (1) チューニングボタンを押すだけで、自動的に正確に選局するので、手動で選局したときに起こりやすい不完全同調による音のひずみや、音量不足がなく、暗やみでも選局は自



第17図 “オートエイトTH-800” オートチューニングラジオ

由、周波数のわからない土地へいってもオートチューニングで自動的に選局してくれる。

- (2) 周波数変換および中間周波増幅に高性能ドリフト形トランジスター2個を使用、10φ×160mmの大形フェライトアンテナ、バリコン反転式の使用と相まって雑音が少なく、感度は抜群である。
- (3) 近距離、中距離、遠距離の3段階の感度切換スイッチがついているので、強電界でも弱電界でも適当な数の放送局が受信できる。
- (4) 周波数目盛が均等で見やすく、特に高い周波数の選局ずれが少なく精度は抜群である。
- (5) 日立独自の反転機構を採用したのでエンドレスバリコンが表のみの使用になり、調整が完全となり目盛ずれなどが少なく自動選局が完全である。
- (6) ブロック回路の採用で品質が均一である。

……………編集後記……………

最近における電話の普及はめざましい。日本電信電話公社では、さらに第3次および第4次5個年計画により設備の拡充を急いでいる。これら電話設備の拡大に伴い電話交換技術も著しい進歩を遂げている。

「格子またはリンパの順位選択における内部ふくそう率」では、共通制御式自動交換機における三段接続フレームをモデルにして、順位選択において内部ふくそう率に及ぼすリソック構成の影響、呼量の影響、発着呼量比の影響、一次格子拡大率の影響などを電子計算機を用いたシミュレーションによって解析した結果を報告している。

「同期機の動態安定度」では、同期機の動態安定度について同期機の諸定数や自動電圧調整器の諸特性などの影響を電子計算機により検討し、凸極機、非凸極機の差異や自動電圧調整器の効果、原動機の自動速度調整器の影響等について考察している。

本誌 Vol. 47 No. 11 に掲載した「同期機の定態安定度」とともに同期機選定の基礎資料として貴重な文献とならう。

原子炉の設計にあたっては、空間依存スペクトルなどを考慮した高度の計算コードをひんぱんに使用することは、あまり経済的ではない。むしろ一般的な計算コードを基準に用い、その結果に適当なモデルによる補整と改良を加えて、くり返し用いる方が経済的かつ実用的である。そのためには、この計算コードの結果が、どの程度実際の現象を再現しうるかを十分に検討する必要がある。

「多領域が心の実験的研究」では、拡散近似を用いた一般的な計算方法の妥当性と限界を指摘し、これらの問題点を実験的に確認した結果を報告している。

今後の研究の指針として貴重な布石となる論文である。

本号の特集は「保護継電器のトランジスタ化」[全トランジスタキャリアリレー装置][共架多回線送電線用差電流特性キャリアリレー装置][電源抑制・系統分離装置]など6編の論文を収録し「トランジスタリレー特集」を掲載した。

最近アメリカ合衆国の東北部とカナダとの大連けい系統が、その拡大事故のために、10時間前後に及ぶ停電を起こし、ジャーナリズムをにぎわした。本特集はこれら電力系統において重要なポイントとなる継電器にスポットをあて、日立製作所におけるトランジスタリレーの開発・研究・制作の全貌を紹介した貴重な論文集である。

巻頭を飾る一家一言欄には、東京大学名誉教授 福田節雄博士より、「リレー技術の革新(最近の系統大事故の続発に関して)」と題する玉稿をいただいた。ご繁忙の折り、特に本誌のために寸暇をさいて稿を草されたご厚情に対し、深甚なる謝意を表する。

昭和40年度最終号の編集を終るにあたり、読者諸氏から格別のご指導とご愛顧をいただいたことに対し、衷心より感謝の意を表する。昭和40年は、経済界の不況という苦況のうちに終止したが、技術研究への努力は絶ゆみなく続けられた。新年を迎えるにあたり諸賢のご健康とご発展をお祈りする次第である。

日立評論 第47巻 第12号

昭和40年12月20日印刷 昭和40年12月25日発行

(毎月1回25日発行)

<禁無断転載>

定価1部150円(送料24円)

© 1965 by Hitachi Hyoronsha Printed in Japan

凡丁落丁本は発行所でお取りかえいたします。

編集兼発行人
印刷人
印刷所
発行所

伊藤 謙
浅野 浩
株式会社日立印刷所
日立評論社

東京都千代田区丸の内1丁目4番地
電話東京(270)2111(大代)

振替口座東京71824番
株式会社 オーム社書店

取次店

東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
振替口座東京20018番 電話東京(291)0912

広告取扱店 株式会社 日盛通信社 東京都中央区銀座西7丁目3番地 電話東京(571)5181(代)